

商店街に子どもたちの笑顔 九工大生企画

お菓子のリースできたよ



お菓子のリース作りを子どもたちに指導する九州工業大情報工学部生ら

飯塚市の東町商店街で20日、マルシェやコンサートでクリスマス盛り上げる「商店街のぜんぶクリスマス」があった。商店街活性化をテーマに10月から実地研修を続ける九州工業大情報工学部(同市川津)の学生が発案したお菓子のリース作りもあり、笑顔の子どもたちでにぎわった。

企画したのは小田部壮司教授(超電導)が指導する

半年間の長期インターンシップを選択した3年生5人から計8人。日ごろ商店街で見かけない子どもたちが集

まりやすいイベントを開いた。会場には開始予定の午前11時から多くの児童が集まり、学生は細長い白い紙に絵や模様を描いたり、アメやチョコレートを入れて

から輪っかにして毛糸で編んだりするリースの手順を丁寧に指導。あきて席を立つとする子どもたちに手を焼く場面もあった。同学部3年の川棚湧貴さん(21)は「予想を上回る参

加者でにぎわいにはつながったが、子ども一人一人では異なる対応が必要な点などは想定外だった」と語り、小田部教授は「学生たちは

社会の課題を現場で知ることとで、その対策を考え、実際に解決する難しさが分かっただろう」と述べた。(糸山信)